



# 文武両道 ～全国の舞台で活躍～



団体戦で全国3位

## 最高の3年間

囲碁部 高山 皐  
たかやま こう

囲碁部は、香川県で行われたかがわ総文祭囲碁部門と、東京都で行われた全国高等学校囲碁選手権大会に参加しました。半年前には男子団体戦で準優勝を果たし、全国の強豪と肩を並べて戦えていることを実感しました。今夏の大会が準優勝したメンバー（私と2年生の渡辺太陽・土門真鳳）で戦える最後の大会ということで緊張しましたが、量が敷かれた部室で過ごしたかけがえのない日々がいつも背中を押してくれました。大会特有の空気の中、全国選手権において一手一手に死力を尽くし、男子個人では第8位、男子団体では全国3位に入賞し、個人団体ともに3年連続のベスト8に入賞することができました。入学当初は思いもしなかったほどの好成績で、満足感と充実感をもって後輩にバトンを託すことができました。3年間支えてくださった両親や先生方をはじめ、すべての方々に心から感謝しています。応援ありがとうございました。



全国で奨励賞

## 香川での貴重な経験

美術部 寺田 花音  
てらだ かのん

かがわ総文祭に参加し、作品を鑑賞し評価することが、制作と同じくらい美術的に価値ある営みだと実感しました。全国から集まった作品はどれも見応えがあり、それらを鑑賞する中で、制作者たちと彼らの作品だけでなく美術そのものについて語り合ってみたいと心から思いました。生徒交流会では、他地域の生徒と意見を交わし、視野が広がりました。また、秋篠宮殿下、妃殿下に私の作品をご覧いただき、直接ご説明する機会にも恵まれました。緊張の中でしたが、真剣に耳を傾けてくださるお姿に芸術への深い理解と温かいお人柄を感じました。全国作品展示で奨励賞をいただいたことも、大きな励みとなりました。これらの経験を通して、表現者と鑑賞者が互いに関わり合うことで作品に新たな意味が生まれることを知りました。これからもその視点を大切に、制作に向き合っていきたいです。



総文祭特別賞

## 多くの努力の形に触れて

書道部 竹村 心那  
たけむら ここな

かがわ総文祭で特別賞を受賞することができ、大変光栄に思います。昨年の秋に総文祭の出場が決まった際には初めてのことでばかりで困惑していましたが、先生方や家族、先輩方の協力のおかげで準備を円滑に進めることが出来ました。作品観覧の際には、書の原本を様々な角度から観察し、オリジナリティを込めながら解釈していることが伝わる作品が多く見受けられ非常に感動しました。やはり作品を見ていく上で西日本と東日本では書の雰囲気や書き方が異なるため、秋田県の書道展とはまた違う刺激を受けることができました。

総文祭を通じて全国のレベルの高さに圧倒され、自分の未熟さを痛感すると同時にデジタルが主流の今日に仲間と筆をとることのできる喜びを感じました。この経験を生かして来年の秋田大会ではさらに質の高い作品に仕上げるためにこれからも努力を惜しまず積み重ねていきます。

